

項番	大分類	中分類	小分類	要求仕様
1	番号表示機能			番号表示機能
1-1	番号表示機能			電子カルテシステムと連携して、表示ディスプレイに自動で受付番号を表示できること。
1-2	番号表示機能			電子カルテシステムと連携し、患者の来院受付時に発行された受付番号を電子カルテシステムの操作に基づいて、対応する液晶ディスプレイに診察室ごとの情報(受付番号・予約時間枠・診療科名称・診察室名称・担当医師名)を表示できること。
1-3	番号表示機能			電子カルテ上で患者の呼び込みがおこなえる。また、同時に診察の順番に従って、待機患者を表示盤に自動的に表示を行う。その場合、診察可能な受付状態の患者のみ表示を行うが、その他の受付状態の患者も一覧表示可能とする。
1-4	番号表示機能			電子カルテ上で診察表示する順番を任意に変更、指定可能とする。
1-5	番号表示機能			呼出しに対して患者の入室が無い場合、電子カルテ上で受付へ誘導する機能を有している。
1-6	番号表示機能			検査などで再診察が必要な場合、電子カルテの中断操作に連動して中断患者を電子カルテ上で二重に管理するようなことのないようにすること。
1-7	番号表示機能			診察済み一覧の患者を再度診察を行う場合に、診察の順番に戻し、表示盤に番号を表示する機能を有している。
1-8	番号表示機能			急遽医師が急患対応などでその後の診察が行えない場合など、代診による診察表示が可能である。
1-9	番号表示機能			医師に対応した予約枠を都度切替で患者一覧を表示することが可能である。
1-10	番号表示機能			各診察室の医師名については、該当する診察室の電子カルテ端末へログインした医師の利用者名または予約枠名を表示することが可能なこと。(表示システム単独での医師スケジュールなどで二重に管理することのないようにすること)
1-11	番号表示機能			番号表示画面には、以下の項目を表示できること。 。 受付番号 。 予約時間枠 。 診療科名称 。 診察室名称 。 担当医師名 。 現在時刻
1-12	番号表示機能			診察室ごとに「番号表示」と「予約時間枠表示」のどちらを表示するかを設定できること。また、ユーザで任意に設定・変更ができること。
1-13	番号表示機能			番号更新時には、呼び込み番号のポップアップ画面を表示できること。
1-14	番号表示機能			ポップアップ表示時は、ポップアップ画面が目立つように背景を画像にて設定ができること。
1-15	番号表示機能			番号の更新時及びポップアップ画面表示時は、チャイム音を使用し注意を促し誘導できること。
1-16	番号表示機能			チャイム音は複数用意し、表示盤ごとにチャイム音を設定できること。また、導入後でもユーザで任意に設定・変更ができること。
1-17	番号表示機能			ポップアップ画面のチャイム音あり／なしを全ディスプレイ個別に設定できること。また、導入後でもユーザで任意に設定・変更ができること。
1-18	番号表示機能			1枚のディスプレイに複数診療科表示ができること。
1-19	番号表示機能			液晶ディスプレイの表示する診療科・診察室の割り当てを設定できること。
1-20	番号表示機能			遅れ時間を表示盤に表示できること。
2	電源管理機能			電源管理機能
2-1	電源管理機能			全端末の電源ON/OFFの集中管理がサーバで行えること。
2-2	電源管理機能			カレンダー機能により、外来休診日を自由に設定可能で、外来休診日は起動しないように設定できること。
2-3	電源管理機能			各科の診察時間を考慮し、各ディスプレイの稼動時間を個別に設定できること。また、各ディスプレイの稼動時間は、導入後でも設定用端末の操作により、ユーザで任意に設定・変更ができること。
2-4	電源管理機能			設定用端末から、手動により全端末一斉又は個別に電源ON/OFFができること。
3	表示スケジュール機能			表示スケジュール機能
3-1	表示スケジュール機能			非稼動日を設定できること。また、導入後でもユーザで任意に設定・変更ができること。
3-2	表示スケジュール機能			各ディスプレイの表示開始時間を個別に設定できること。また、導入後でもユーザで任意に設定・変更ができること。
3-3	表示スケジュール機能			各表示画面(診察待ち表示画面、インフォメーション画面、お知らせ画面等)の表示スケジュールは、ディスプレイごと、且つ曜日ごと・時間ごとに設定できること。また、導入後でもユーザで任意に設定・変更ができること。
4	テロップインフォメーション機能			テロップインフォメーション機能
4-1	テロップインフォメーション機能			テロップインフォメーションは、院内共通、各ディスプレイ毎で設定・表示ができること。
4-2	テロップインフォメーション機能			テロップインフォメーションは、100個まで登録できること。また、事前登録したテロップメッセージをディスプレイごとに、表示／非表示を任意に選択できること。
4-3	テロップインフォメーション機能			テロップの流れるスピードは、ディスプレイごと、個別に設定できること。
5	お知らせ画像表示機能			お知らせ画像表示機能
5-1	お知らせ画像表示機能			お知らせ画像表示は、院内共通、各ディスプレイ毎で設定・表示ができること。
5-2	お知らせ画像表示機能			お知らせ画像を一元管理できること。
5-3	お知らせ画像表示機能			表示する画像イメージは、BMP、JPEG形式で登録できること。
5-4	お知らせ画像表示機能			お知らせ画像表示のスケジューリングができること。
6	状況表示機能			状況表示機能
6-1	状況表示機能			状況表示は、各診察室毎に表示ができること。
7	その他機能			その他機能
7-1	その他機能			サーバの自動再起動日を設定でき、定期的な再起動を実現できること。
7-2	その他機能			ログの保持期間を設定できること。また、ログの削除、DB内のデータの削除が自動的に行えること。

7-3	その他機能			各種設定の変更・登録は、表示システム側の特定のサーバ、設定用端末からだけではなく、電子カルテ端末からも操作できること。
7-4	その他機能			設定用端末は、ユーザーごとに使用できる機能を制限できること。
7-5	その他機能			ログインユーザの所属ブロックにより、操作可能な表示盤やコンテンツテロップなどを制限できること。
8	ハードウェア (表示サーバ)			ハードウェア (表示サーバ)
8-1	ハードウェア (表示サーバ)			表示サーバは物理サーバとして1台用意すること。
8-2	ハードウェア (表示サーバ)			CPUはPentium Gold G7400 プロセッサ (3.70GHz/2コア/6MB) ×1相当以上であること。
8-3	ハードウェア (表示サーバ)			ストレージは1TB以上であること。
8-4	ハードウェア (表示サーバ)			メモリは16GB以上であること。
8-5	ハードウェア (表示サーバ)			シリアルポート接続可能なこと。
8-6	ハードウェア (表示サーバ)			ネットワークは1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-TのLANに接続可能なこと。
8-7	ハードウェア (表示サーバ)			OSはWindows Server 2022 SE 64bit以上の汎用的なものであること。
8-8	ハードウェア (表示サーバ)			電子カルテシステムと連携し、診察室単位の医師名/患者情報の管理を行えること。
8-9	ハードウェア (表示サーバ)			電子カルテシステムからのデータを整理し、対応する各表示盤へデータ送信を行えること。
9	ハードウェア (外部配信サーバ)			ハードウェア (外部配信サーバ)
9-1	ハードウェア (外部配信サーバ)			CPUはPentium Gold G7400 プロセッサ (3.70GHz/2コア/6MB) ×1相当以上であること。
9-2	ハードウェア (外部配信サーバ)			ストレージは1TB以上であること。
9-3	ハードウェア (外部配信サーバ)			メモリは16GB以上であること。
9-4	ハードウェア (外部配信サーバ)			シリアルポート接続可能なこと。
9-5	ハードウェア (外部配信サーバ)			ネットワークは1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-TのLANに接続可能なこと。
9-6	ハードウェア (外部配信サーバ)			OSはWindows Server 2022 SE 64bit以上の汎用的なものであること。
9-7	ハードウェア (外部配信サーバ)			表示サーバとデータ連携し、病院様に準備頂くWAN側へデータ送信を行えること。
10	ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)			ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)
10-1	ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)			メッセージ入力用のお知らせ、モバイル管理用としてパソコン1台用意すること。
10-2	ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)			CPUは、インテル®Core(TM) i5-13500以上であること。
10-3	ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)			ストレージはSSD250GB以上であること。
10-4	ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)			メモリは8GB以上であること。
10-5	ハードウェア (お知らせ・モバイル管理パソコン)			DVD-ROMドライブユニットを搭載すること。

10-6	ハードウェア (お知らせ・ モバイル管理 パソコン)			ネットワークは、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tに接続可能なこと。
10-7	ハードウェア (お知らせ・ モバイル管理 パソコン)			OSはWindows® 11 Professional以上の汎用的なものであること。
11	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			ハードウェア (診察室前表示盤)
11-1	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			ディスプレイ部は液晶ディスプレイ、制御部を内蔵したものを59台用意すること。
11-2	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			ディスプレイは業務用ディスプレイであること。
11-3	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			最大解像度は、1920×1200ドット以上であること。
11-4	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			ディスプレイ用制御部は、ファンレス及びハードディスクレスであること。
11-5	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			OSは、Windows 10 IoT Enterprise 以上であること。
11-6	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			CPUは、Intel Atom E3826 2Core 1.46GHz以上であること。
11-7	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			メモリは、2GB以上であること。
11-8	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			Wake On LANにより、LAN経由で電源投入/切断ができること。
11-9	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			スピーカーを内蔵していること。
11-10	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			視野角は水平160° 以上、垂直160° 以上であること。
11-11	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			重量は、10kg以下であること。
11-12	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			外形寸法はスピーカーを含み、W454×D536×H62(mm) 以内であること(突起部含まず)。
11-13	ハードウェア (診察室前表 示盤：17型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			消費電力は、80VA以下であること。
12	ハードウェア (診察案内表 示盤：55型液 晶制御部内蔵 壁掛型)			ハードウェア (診察案内大型表示盤)

12-1	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			ディスプレイ部は液晶ディスプレイ、制御部内蔵したものもしくは制御PCを66台用意すること。
12-2	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			ディスプレイは業務用ディスプレイであること。
12-3	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			最大解像度は、1920×1200ドット以上であること。
12-4	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			OSは、Windows 10 IoT Enterprise 以上であること。
12-5	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			CPUは、Intel Atom E3826 2Core 1.46GHz以上であること。
12-6	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			メモリは、2GB以上であること。
12-7	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			Wake On LANにより、LAN経由で電源投入／切断ができること。
12-8	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			スピーカーを内蔵していること。
12-9	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			視野角は水平178° 以上、垂直178° 以上であること。
12-10	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			ディスプレイと制御部の重量が、33kg以下であること。
12-11	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			ディスプレイの外形寸法はスピーカーを含み、W1250×D140×H715(mm) 以内であること(突起部含まず)。
12-12	ハードウェア (診察案内表示盤：55型液晶制御部内蔵壁掛型)			消費電力は、最大230VA以下であること。
13	モバイル呼出システム			モバイル呼出システム
13-1	モバイル呼出システム			診察の進行状況により順番が近づくと、患者所有のモバイル端末（携帯電話やスマートフォン）に自動的に通知し、外来患者へ連絡する機能を有すること。
13-2	モバイル呼出システム			職員による登録ができる機能を有すること。
13-3	モバイル呼出システム			登録済みの状況を患者自身で確認できること。
13-4	モバイル呼出システム			診察の順番が近づくことにより、診察室前に戻ることを通知できること。また、通知タイミングは運用により診療科毎に設定可能であること。
13-5	モバイル呼出システム			登録された情報は、任意の日数を経過することにより、自動的にデータを消去する機能を有すること。
13-6	モバイル呼出システム			通知後、該当患者へメール通知の有無を確認できること。
13-7	モバイル呼出システム			患者様1人に対して、複数の端末で登録可能であること。
13-8	モバイル呼出システム			再来受付機等で受付完了した患者に対して、受付完了後に通知を送信できる機能を有すること。
14	患者呼び出し	アプリ対応		アプリ対応
14-1	患者呼び出し	アプリ対応		病院待合番号表示アプリに関して、以下の要件を満たすこと
14-2	患者呼び出し	アプリ対応		通信及び接続の条件に関し、以下の要件を満たすこと
14-3	患者呼び出し	アプリ対応		院内設置の診察及び会計表示サーバと連動できること
14-4	患者呼び出し	アプリ対応		院内設置の診察表示サーバと院外設置のデータセンターはVPNでの接続を標準とし、インターネット接続に関しては当院と調整の上行うこと
14-5	患者呼び出し	アプリ対応		待合番号システム本体機能に関し、以下の要件を満たすこと

14-6	患者呼び出し	アプリ対応		スマートフォンやタブレット端末にて利用者が無料アプリをインストールするだけで利用できること
14-7	患者呼び出し	アプリ対応		無料アプリは、メールアドレスやパスワードの登録や入力が必要であること
14-8	患者呼び出し	アプリ対応		スマートフォンやタブレット端末に院内待合番号画面と同じ番号情報が表示されること
14-9	患者呼び出し	アプリ対応		表示する診療科・医師・診察室を選択できること
14-10	患者呼び出し	アプリ対応		診察案内表示に関しては、登録した受付番号を設定することでプッシュ通知ができること
14-11	患者呼び出し	アプリ対応		登録した該当番号をハイライト表示できること
14-12	患者呼び出し	アプリ対応		プッシュ通知履歴を見ることができること
14-13	患者呼び出し	アプリ対応		待合番号画面上部に現在時刻が表示できること
14-14	患者呼び出し	アプリ対応		診療費後払いやデジタル診察券の機能を、1つのアプリで登録できること
14-15	患者呼び出し	アプリ対応		障害があった場合、迅速に保守する体制が整っていること
14-16	患者呼び出し	アプリ対応		障害があった場合の連絡窓口は1箇所であること
14-17	患者呼び出し	アプリ対応		障害があった場合の連絡窓口は診察表示／会計表示システムと同一窓口であること
14-18	患者呼び出し	アプリ対応		システム導入後、取り扱い方法について教育訓練を行うこと